天台佛青連

発 行 元／天台仏教青年連盟
編　　集／布教広報委員会
発 行 所／〒289-0108　千葉県成田市高岡163　眞城院内
印 刷 所／〒960-2101　福島県福島市さくら三丁目2-7　福島カラー印刷株式会社
郵便振替／天台仏教青年連盟　02250-5-6765

題字／第256世天台座主
半田孝淳猊下

令和元年
臨時号

新　任　挨　拶

第25代
天台仏教青年連盟
代表 松村　宗宣
〈東　海〉
全体統括

「ごあいさつ」

この度、第25代天台仏教青年連盟代表に就任致しました、東海教区聖徳寺住職松村宗宣（まつむらそうせん）と申します。

在任中は大法会事業を軸として活動して参りますが、来たる令和2年には仏青連盟創立50周年という大きな節目を迎えます。今日まで諸大徳各位が築き上げられた歴史の重みを肌で感じつつ、青年僧らしく失敗を恐れず前を向いて取り組んで参る所存でございます。

私たちを取り巻く環境は少なからず変化し、青年会の果たす役割は大きくなってきていると感じております。自身の信念に基づき僧侶として何ができるのか、何を伝えていかなければならないのか、仏青会員と共に考え、「令和」という新たなる年に縁と繋がりを礎とし、仏青連盟の灯が100年先まで灯し続けていけますよう、護持発展に精進して参ります。

今後とも、前任者同様、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう衷心よりお願いを申し上げ、就任のご挨拶と致します。

副代表
山石　亮秀
〈兵　庫〉
布教広報

副代表
木本　栄悟
〈埼　玉〉
救援

事務局長
中里　正敬
〈北　総〉
全体統括

事務局次長　庶務
杉谷　義恭
〈東　京〉
情報通信

事務局次長　会計
藤村　憲龍
〈岡　山〉
結集研修

事務局次長　法務
山本　賢潤
〈本　山〉
結集研修

事務局次長　渉外
小笠原　一行
〈福　島〉
情報通信

会計監査
角本　尚隆
〈九 州 西〉
救援

会計監査
益子　亮陽
〈茨　城〉
布教広報

退　任　挨　拶

第24代
天台仏教青年連盟
代表 谷　晃仁
〈群　馬〉

「御礼」

第24代天台仏教青年連盟代表任期満了にあたり一言ご挨拶申し上げます。私が連盟に関わらせていただくようになって8年が経ちました。この間には東日本大震災をはじめ様々な自然災害が発災いたしました。代表就任以前より「教区の垣根を越えた全国レベルでの会員同士の繋がり」に強い意味を持っておりました。まさにこの災害に対しての活動がその最たるもので、遠方地区からも多くの会員が被災地で活動を行いました。また、天台宗防災士協議会など宗内外郭団体とも協働することでより効率的かつ安全に活動をすることが可能となりました。さらには釈迦堂駐在布教、全国結集、全日本仏教青年会活動など事業が円成出来ましたのも多くの繋がりの上に成り立ったものと感じております。この事業円成は一宗諸大徳各位のご理解ご支援はもとより、全国の仏青会員全員のご協力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。最後に仏青連盟の更なる飛躍と被災地の早期復興をご祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

・代表
谷　晃仁（群馬・前列右から3番目）
・副代表
西郷　良貴（神奈川・前列右から4番目）
・副代表
松村　宗宣（東海・前列右から2番目）
・事務局長
益子　亮陽（茨城・前列右から1番目）
・事務局次長　庶務
鷲岡　嶺照（九州西・後列右から2番目）
・事務局次長　会計
太田　義法（陸奥・後列右から4番目）
・事務局次長　法務
渡邊　恵淳（本山・後列右から5番目）
・事務局次長　渉外
二見　亮覚（栃木・後列右から1番目）
・会計監査
清水谷　善誠（兵庫・後列右から3番目）
・会計監査
東伏見　光晋（京都・前列右から5番目）

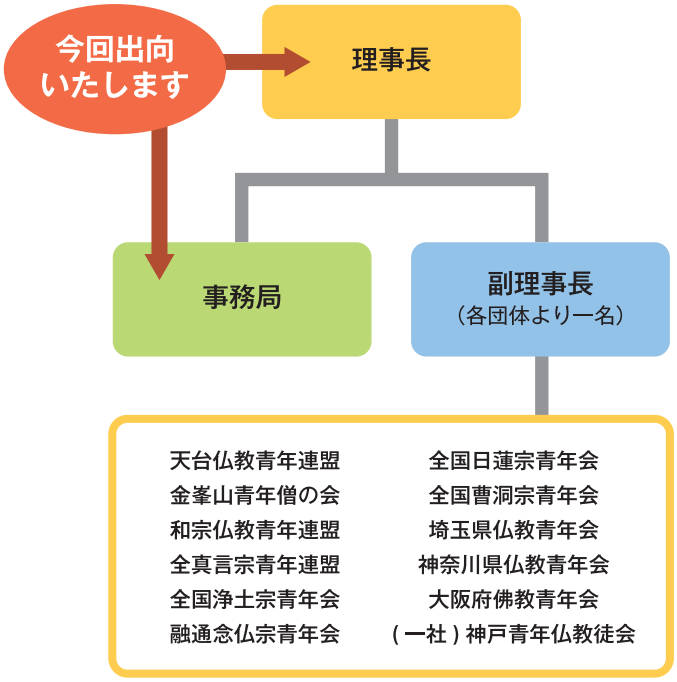
全日本仏教青年会とは

全日本仏教青年会（All Japan Young Buddhist Association／JYBA）は、1977年に設立された日本全国の宗派・地域の垣根を越えて活動する仏教青年団体です。現在、8宗派・4地域の仏教青年会が加盟しております。

また、世界仏教徒青年連盟（World Fellowship of Buddhist Youth／WFBY）唯一の日本センターでもあります。和を重んずる仏教精神のもと、仏教青年相互の密接なる連絡・連携・友好をはかり、時代に即応する活動を展開するとともに、全世界の仏教徒と交流を深めつつ、仏教文化の宣揚と世界平和の進展に寄与することを目標に活動しています。

奈良東大寺での千僧法要の様子

天台仏教青年連盟と全日本仏教青年会との関係について



全日本仏教青年会の構成

天台仏教青年連盟は全日本仏教青年会の加盟団体として活動を行っております。

代表が副理事長、連盟役員から理事を出向し、理事会で様々な議案の審議・議決を行い、また、他団体と協調を図りながら委員会の活動や様々な事業を展開いたします。

平成29-30年度には広報委員会を担当し、広報誌「JYBA」の編集・全日本仏教青年会のホームページの運営管理、SNSでの情報発信を担ってまいりました。

令和元年度よりは理事長輩出教団として事務局を組織し、全日本仏教青年会の活動全般のサポートを担い、加盟団体をリードしていく役目を担うこととなります。

また、全日本仏教青年会は世界仏教徒青年連盟（WFBY）の日本センターとして国際活動にも関わり、各国の青年仏教徒との交流を深めつつ、世界平和への貢献と仏教の宣揚を目的に活動しています。世界の青年仏教徒との交流促進にも尽力いたします。

天台仏教青年連盟より

全日本仏教青年会理事長を輩出

令和元年6月より天台仏教青年連盟から全日本仏教青年会の理事長を輩出することとなりました。天台仏教青年連盟からの輩出は18年ぶりのことです。輩出にあたり皆様に全日本仏教青年会についてのご説明と出向する役員・事務局の紹介をさせていただきます。

理事長挨拶

第22期全日本仏教青年会
理事長　**谷　晃仁**
（群　馬）

去る6月19日の全日本仏教青年会定期理事会で承認をいただき第22代理事長に就任いたしました、群馬教区南前橋部永福寺住職谷晃仁（たに　こうにん）と申します。

ここに就任にあたりご挨拶申し上げると共に事務局運営の中心となる、天台仏教青年連盟から出向いたします役員並びに事務局を紹介させていただきます。通常この臨時号は連盟新役員、新代議員の紹介のために発刊しておりますが、理事長を天台仏教青年連盟から輩出し、事務局員を出向することを広く知っていただきたく、連盟広報委員会の協力の下、共同でこの臨時号を特別なものとして発刊させていただきました。

現在の全日本仏教青年会は東大寺で行われてます千僧法要を始め、災害慰霊や復興祈願の法要や、災害支援活動、諸宗教交流、全国大会、寺院護持や僧侶研鑽のための研修会など多くの活動を行っております。さらには国際交流事業も多岐にわたり、アジア3国間で行われている大学生交流プログラム(EA-IBYE)や世界仏教徒青年連盟関連事業など数多くが開催されています。

比叡山は各宗派のお祖師様の修行の地であります。理事長を務めるにあたり『パートナーシップ』をテーマに加盟団体相互の協調と繋がりを強化し、一般のかたにもっと仏教と接していただく機会を増やして行きたいと考えております。そこに世界レベルの偏見や差別や不平等を廃し、貧困や戦争の無い環境作りを模索していく所存であります。

任期2年間となりますが多くの方に活動を知っていただき、ご協力、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

役員・事務局一覧

推戴委員長
井藤　圭順
（兵　庫）

事務局長
鷲岡　嶺照
（九州西）

事務局長代行(総務統括)
二見　亮覚
（栃　木）

事務局長代行(庶務統括)
東伏見　光晋
（京　都）

事務局次長(総務)
山崎　圓宗
（三　岐）

事務局次長(庶務)
竹林　俊尋
（栃　木）

事務局次長(庶務)
中曽根　諶秀
（東　京）

事務局次長(渉外)
中村　隆広
（東　海）

事務局次長(渉外)
加藤　邦宣
（東　京）

会　計
清水谷　善誠
（兵　庫）

会　計
浅井　玄順
（東　京）

全日仏青天台支援の会
（事務局長）
光榮　純貴
（茨　城）

全日仏青天台支援の会
（天台事務会計）
眞木　興遼
（群　馬）

令和元年度～令和２年度　代　議　員

〈本山〉
長谷川 裕峰
（結集研修）

〈滋賀〉
齊藤 壽人
（結集研修）

〈京都〉
本多 寂信
（結集研修）

〈近畿〉
藤枝 瑞樹
（布教広報）

〈兵庫〉
吉田 靖順
（○布教広報）

〈岡山〉
松原 照敬
（◎結集研修）

〈山陰〉
清水谷 善暁
（布教広報）

〈四国〉
西原 太河
（布教広報）

〈九州東〉
國光 豪滉
（結集研修）

〈九州西〉
井上 亮尚
（救援）

〈三岐〉
久保寺 福美
（◎布教広報）

〈東海〉
山田 円祐
（○結集研修）

〈北陸〉
西村 智裕
（布教広報）

〈信越〉
吉澤 道信
（結集研修）

〈神奈川〉
大久保 良尚
（救援）

〈東京〉
大野 豪祐
（情報通信）

〈北総〉
豊田 良栄
（情報通信）

〈南総〉
佐久間 実洗
（◎救援）

〈埼玉〉
河邉 良典
（○救援）

〈群馬〉
林　廣怜
（結集研修）

〈茨城〉
伊東 寂円
（布教広報）

〈栃木〉
池田 宗道
（救援）

〈福島〉
矢島 義浩
（救援）

〈陸奥〉
小林 伯裕
（○情報通信）

〈山形〉
清原 要田
（◎情報通信）

〈北海道〉
長野 祐順
（情報通信）

〈所属仏青〉
氏名
常任委員会（◎委員長○副委員長）

～編集後記～

会報「天台佛青連」の臨時号は高倉代表の頃、自身が担当させていただいた当時の委員会で二年一期の役員改選にあわせて新旧の連盟代表、役員の挨拶、新代議員を紹介する形で平成二十五年に創刊されました。

四作目となる今号は通常A四サイズ両面二ページのところ、本年六月に谷晃仁前代表が上部組織である全日本仏教青年会の理事長に就任する運びとなり、今回特別にページを増量して全日仏青とコラボレーションする形で発行させていただきました。

今後は連盟の諸活動はもちろん、全日仏青に関連した行事に加えて、来年は連盟創立五十周年の記念事業も控え、諸々の準備等で例年になく活動が多忙になることが予想されています。

その様な記念すべき節目の年に重責を預かることになり、一生懸命努めさせていただく所存ですので何卒宜しくお願い申し上げます。

布教広報委員長
久保寺 福美